

# 文 楽

# 素

# 浄

# 瑠

# 璃

# の

# 会

# 聴く

# を愉しむ

2009年1月29日(木)

15時30分開演

会場：神戸大学百年記念館・神大会館 六甲ホール  
(神戸市灘区・神戸大学学内)

内容：素浄瑠璃の鑑賞公演

演目：「源平布引の滝一九郎助住家の段」

出演：竹本千歳大夫、豊澤富助 ほか

人形を使わずに三味線と太夫の語りのみで、物語をお楽しみいただけます。浄瑠璃の詞章が劇中の人物の台詞、心理や仕草を描写するものであることから、視覚に頼らない想像による鑑賞の愉しみを味わっていただけます。

主催：<sup>こてん</sup>話傳の会

神戸大学大学院国際文化学研究科 異文化研究交流センター  
文部科学省現代GP「アートマネジメント教育による都市文化再生」

共催：神戸大学大学院教育支援プログラム

「文化情報リテラシーを駆使する専門家の育成」

後援：文化庁・芸術創造活動重点支援事業

料金：無料

申込：往復はがきに住所・氏名・電話番号・事業名を明記のうえ、異文化研究交流センターへお送りください。

先着順にて受付致します。

(はがき1枚につき1名様でお申し込みください) Eメールでのお申込みも受け付けます。

神戸大学大学院国際文化学研究科 異文化研究交流センター (IReC)

住所：〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1

TEL / FAX : 078-803-7650 (平日 13-17時)

E-mail : irecgp1921@gmail.com

HP : <http://web.cla.kobe-u.ac.jp/artmg/> (←携帯からも閲覧出来ます。)

「話傳の会」は、人形浄瑠璃文楽の音楽である「義太夫節」の伝統を継承し、「義太夫節」を今日の国際的な音楽環境の下で、将来にわたって日本の伝統的な声の音楽文化として発展させることを目的に活動する団体である。この会の前身は、故豊竹呂大夫が1996年創始した「義太夫節を世界に広める会」であり、呂大夫とともに活動していた豊澤富助が、故人の遺志を受け継いで、文化庁や国際交流基金の助成によりヨーロッパ各地での素浄瑠璃公演を実現してきた。そして、今後の国内における活動を視野に入れて、平成19年4月に当会を「話傳の会」と改称した。「話傳」は、いにしへの言の葉を語り伝える意味であるとともに、太棹の「デンデン」という響きをイメージしている。会は文楽の技芸員有志で構成されている。



## 会場までのアクセス

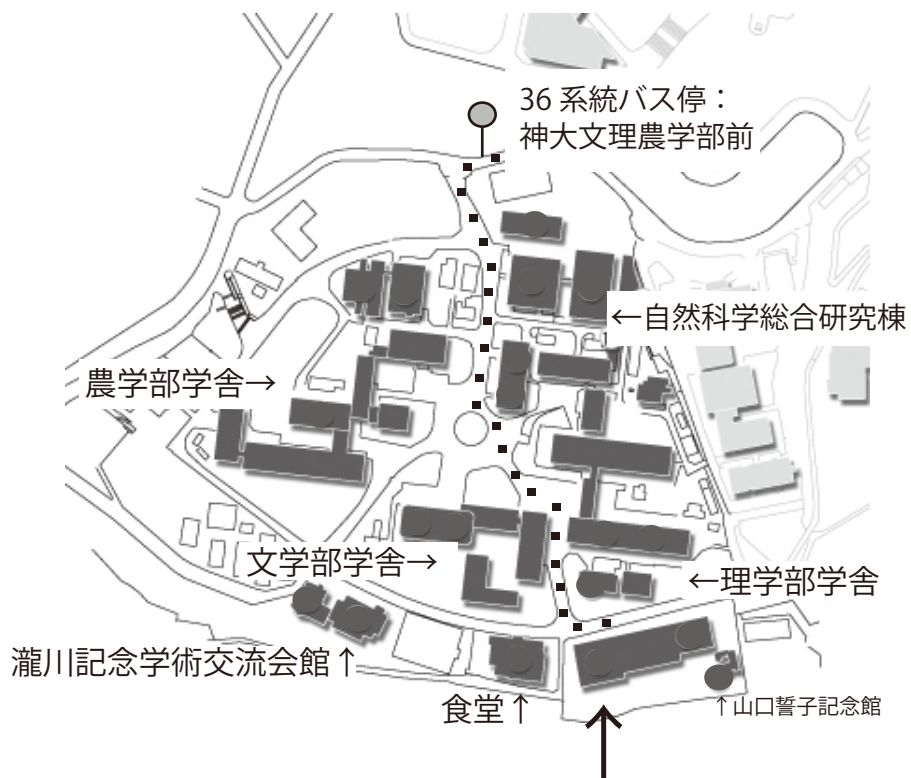
### <バス>

阪神「御影」駅、JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅から  
神戸市バス 36 系統鶴甲団地行、鶴甲 2 丁目止まり行き乗車  
「神大文理農学部前」下車 南へ徒歩 5 分

### <タクシー>

阪神「御影」駅から約 15～20 分  
JR「六甲道」駅から約 10～15 分  
阪急「六甲」駅から約 5～10 分

会場へのアクセスに関するお問合わせは 電話：078-803-5294



神戸大学百年記念館・神大会館 六甲ホール

<http://neweb.h.kobe-u.ac.jp/epg/sdkk/sdkk.html>

## 出演者プロフィール

とよざわ とみすけ

豊澤 富助 人形浄瑠璃文楽座・三味線

### <芸歴>

昭和 46 年 10 月 文楽協会三味線部研究生となる (16 才)  
師は二代野澤勝太郎、野澤勝司と名のる  
昭和 47 年 2 月 自由契約となり国立劇場で初舞台「冥土の飛脚・道行相合かご」  
昭和 48 年 4 月 高校卒業と同時に文楽協会技芸員となる  
昭和 59 年 4 月 五代豊澤富助と改名する

### <受賞歴>

昭和 52・56 年 国立劇場奨励賞  
昭和 59・63 年 / 平成 8 年 国立劇場文楽賞文楽奨励賞  
平成 元年 2 月 芸術選奨文部大臣新人賞  
平成 7・12 年 国立劇場文楽賞文楽優秀賞 ほか多数

たけもと ちとせだゆう

竹本 千歳大夫 人形浄瑠璃文楽座・太夫

### <芸歴>

昭和 53 年 四代竹本越路大夫に入門  
昭和 54 年 4 月 竹本千歳大夫と名のる  
昭和 63 年 1 月 朝日座で初舞台

### <受賞歴>

昭和 60 年 1 月 大阪文化祭賞奨励賞  
昭和 60 年 / 平成 8・10 年 国立劇場文楽賞文楽奨励賞  
平成 12 年 3 月 芸術選奨文部大臣新人賞 ほか多数